

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成31年 4月22日

寝屋川市長 様

住 所 大阪府寝屋川市石津元町10番32号

提出者 氏 名 皆見電子工業株式会社

代表取締役 皆見 幸



（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-829-7371

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	皆見電子工業株式会社
事業場の所在地	大阪府寝屋川市石津元町10番32号
計画期間	2019年4月1日～2020年3月31日迄

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	2841：電子回路基板製造業
② 事業の規模	製造品出荷額：128,200万円
③ 従業員数	100名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり（別紙一1）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり (別紙-2)			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (30年度) 実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排 出 量	715.3 t	61.4 t
	(これまでに実施した取組) 前年度 (H30年度) 分については特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排 出 量	700 t	60 t
	(今後実施する予定の取組) 本年度の生産計画による生産量は、前年度と横ばいとなる計画において、生産効率の一部見直しにより廃アルカリの排出量を2%程度削減できる見込。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定無し		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定無し			

(第4面)

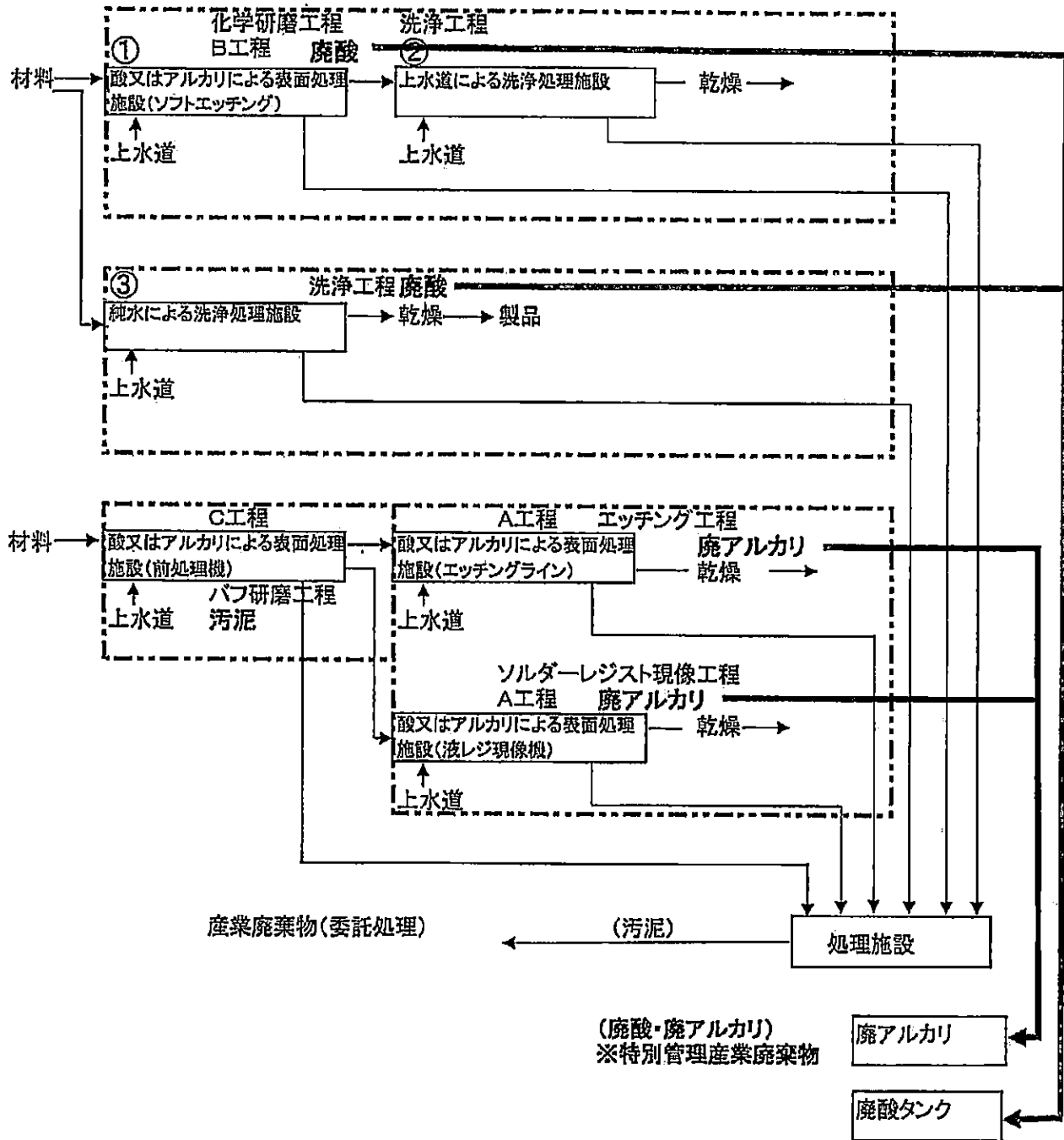
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定無し		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量	715.3 t	61.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	715.3 t	61.4 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量	700 t	60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	700 t	60 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(30年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)		0 t
(今後実施する予定の取組) ・2020年4月を期限として現在計画中			
※事務処理欄			

産業廃棄物発生工程フロー

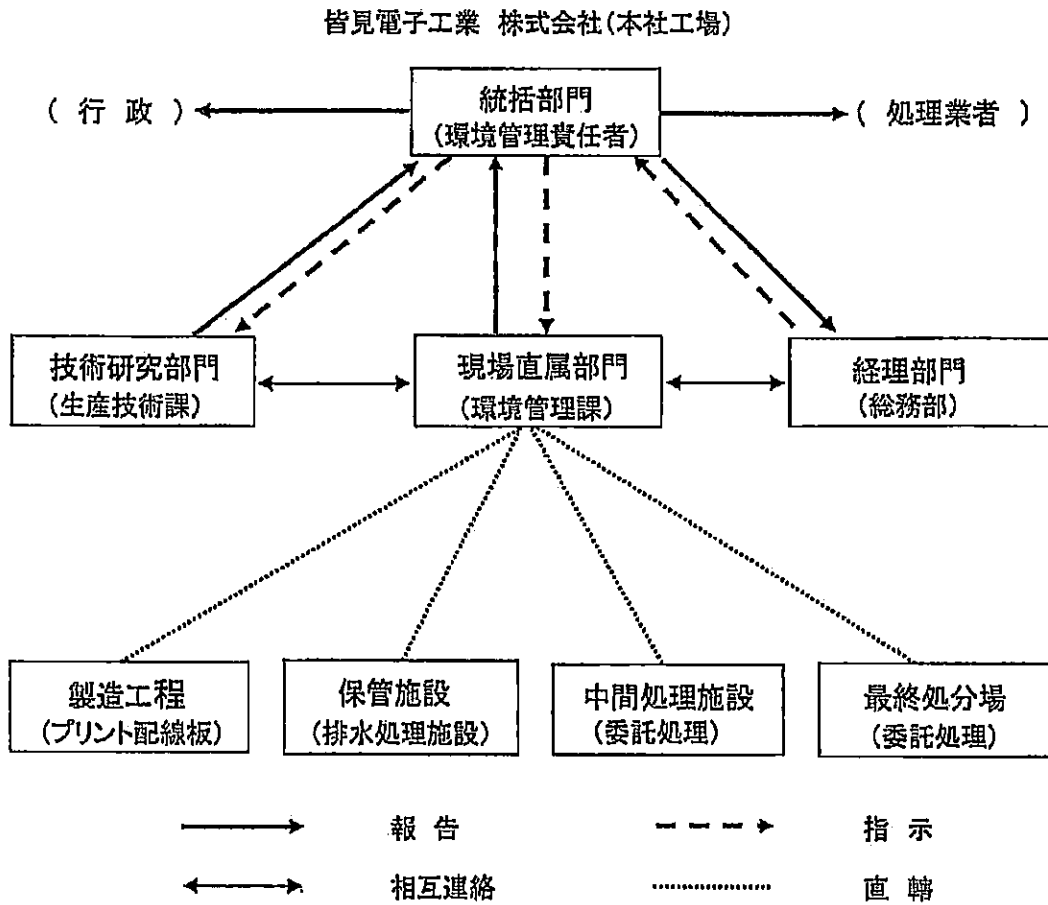
別紙-1

皆見電子工業株式会社(本社工場)



皆見電子工業株式会社

[社内組織図]



[各部署の役割]

部 署	役 割
A 統括部門 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 行政に対する報告等 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発
B 現場直属部門 環境管理課	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 各現場の施設の日常点検等・処理施設(事業場内・外)の定期的査察 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
C 技術部門 生産技術課	<ul style="list-style-type: none"> 特別産業廃棄物及びそれに類する設備及び処理施設の保全業務
D 経理部門 総務部	<ul style="list-style-type: none"> 委託料金の支払方法による業者管理 上記内容をAに報告